



三高同窓会 会報

退任のご挨拶



前会長
福間 國夫
(高校2期卒)

平成二十二年の新年を迎え同窓諸兄弟には、心あらたに門出を誓われた事と拝察申し上げます
私事
永らく「雲南会」役員のお席に在りましたが、創立八十周年記念事業策定の最中、突然に前会長の辞任にあたり会長職を受ける事となりました。爾来多くの会友、学校側に援けられ、協力していただき気持ち

ちよく務めさせていただく事が出来ました。深く感謝申し上げます。

三刀屋高等学校の愈々の充実発展を希い、「雲南会」の更なる活躍を期待し、会員の皆様のご健勝を心より祈念して退任の挨拶といたします。

新任のご挨拶



雲南会会長
西村 雄一郎
(高校21期卒)

新年明けましておめでとう
ございます。

会員の皆さまには、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、私は、このたび、福間國夫前会長の後を受け、雲南会会長を務めさせていただきますことになりました。私が母校を卒業しましたが、昭和四十四年三月ですから、歴史ある雲南会の会長たるには、私は若輩、浅学非才であると自認するところですが、皆さ

まのご指導を賜り、母校と雲南会の発展に努力する所存です。どうかよろしくお願いたします。

さて、福間前会長が雲南会を担われた時期は、大変な時期でした。

すでに不況といわれていた中での創立八十周年記念事業の準備、またそのさなかでの

会長ご就任、そして、三刀屋高校の総合学科への改編、個人情報保護法を受け会員名簿の廃止、教室への冷暖設備の導入など、まさに大変革の時期でした。

その困難の連続を、三刀屋高校と雲南会が一体となって乗り切ってきたわけですが、これからも予想を超える困難が待ち受けていることは想像に堅くありません。

未曾有の経済不況は、後輩やそのご家族に進学にしても就職にしても大変なご苦労を強いているに違いありませんし、私にしても政治や社会の変化に戸惑いを覚える昨今です。

私は、昨年が三刀屋高校卒業四十周年で、同級生と旧交を温める機会を得ることができました。やはり、母校はいいものです。

同窓生の皆さま

三刀屋高校が、卒業生誰もとに喜び合える学校でありますよう、雲南会として活動して参りたいと思います。卒業生の皆さまのご協力をよろしくお願いたします。

残念な事件がありましただけに、心から念ずる次第です。

ご挨拶



校長
長 充久
杉谷

平成二十一年四月に着任してほぼ一年が経過しました。不慣れな中での一年間ではありましたが、同窓会や地域の皆様のご支援により、なんとかここまでやってこることができました。心から感謝申し上げます。

大正十三年に開校して以来八十五年の歴史を刻み、幾多の人材が各界で活躍の由、たいへんうれしく思います。また、本同窓会では、本年度も本部、各支部とも、活発に

活動いただいております。本部総会、各支部総会では、会員の皆様の母校に寄せられる熱い思いに直接触れることができ、たいへんありがたく、重ねてお礼申し上げます。特に、ある支部の総会では、他県出身ではあるがたまたま本会員との交友がある関係でご一緒に出席いただいた方があり、縁を大切にす厚い心情に心温まる思いが致しました。

さて本校は、県内では普通科から総合学科に改編した唯一の高校であるという特徴を柱にすえて、教育活動を推進しています。他校より多くの教員配置を得て、「産業社会と人間」という科目を開設するなどして、広く社会の構造・職業等について学ぶとともに生徒それぞれが自己認識を深めることができるよう、学校をあげて取り組んでいるところです。平成十六年に総合学科に改編して以来、本年で六年になり、その成果は徐々に現れてきています。

部活動においてもそれぞれに活躍しており、特に男女ソフトボール部は三月の全国選抜大会、演劇部は八月の全国高校総合文化祭への出場をそれぞれ決めています。その他

の部においても、技術の向上を目指すとともに、礼節を重んじ、人間性の育成や地域との連携を大切に活動に力を注いでいるところです。

今、三刀屋高校の生徒たちは、挨拶をよくし、集会時の態度もよく、問題行動もほとんどありません。その点ではよく頑張ってくれていると思います。ただ、贅沢を言えば、自己を高めるための貪欲さに欠けるのではないかというところが気がかりです。学習面においても部活動面においても、「自分の力はこんなものかな」と、現状に安易に妥協してしまいがちではないかと感じています。もっと小事を積み重ねていくことの大切さを知る必要があるのではと思っております。一分間の学習、トレーニングを六十回続ければ一時間になり、さらにそれを続けると……このことが人生をも変えるほどのことにもなることを、生徒に伝えることができればと思っております。

今後とも皆様のご支援・ご協力をよろしくお願い致します。



地域と雲南会の皆様に支えられ、三刀屋高校は総合学科として今年度で六年目を迎えました。生徒と教職員が目標達成に向かって一丸となり、チームワーク良く、生き生きと輝く高校になっております。

三刀屋高校は、雲南の雄として良き伝統や普通科の流れをくむ総合学科として歩み続けています。時代の変化にしながら対応して生きる力をもった人材を育てるため、教育のあり方を工夫し、実践しています。総合学科になり、以前は普通科と何が違うのかとよく聞かれていました。私たちは、「今、どのような生徒をどのように育てていくのか」という問いを、日々発しながら話し合い、試行錯誤を重ね、目標を定めてきました。普通科との大きな違いは、次の二つの力をつけようとして様々な働きかけを行っているところだと思えます。一つは、コミュニケーション能力の育成、もう一つは進路選択能力のある生徒の育成です。この二つの力をつけるため、総合学科棟など恵まれた施設を生かし、地域の温かいご支援を得て、三年間の高校生活の中にさまざまな「しかけ」を用意しています。

まず、総合学科の授業ですが、一年次は、普通科の学習内容とはほぼ同じです。ひとつだけ異なるのは、「産業社会と人間」という科目の授業が毎週二時間あることです。自己を見つめ、社会とのつながりを体験的に学びます。生徒は、何のために高校で学び、将来自分はどうしたいのか、これからの学習の土台となる部分を学ぶ授業です。

三刀屋高校に入学すると最初に体験するのが、四月末から五月上旬頃に三瓶青少年交流の家で行う「フレッシュマンセミナー（宿泊体験学習）」です。ここで自分の適性について考え、世の中にあるさまざまな職業について調べて話し合い、生徒の前で調べたことを発表するなどします。この行事を始めとして、雲南地域の職業人を複数招いて行う「職業人講演会」や、十月には市内の事業所数十カ所のご協力による「インターンシップ（職業体験学習）」を行います。また、仕事について学ぶだけでなく、学問についても深く知るために島根県立大学他の教授や学生を招いて行う「大学出張講義」や島根大学の学生と共に学習する高・大連携学習も行っています。どの授業でも必ずメモをとるながら授業に参加し、終わると振り返りの時間を設けて感想を書いておきます。そこで



インターンシップの様子

書かれた生徒の感想を読むと、一つ一つの行事をしつかり受け止めて、何が自分に足りないのかを学び得ていることがわかります。

このようにして三刀屋高校の生徒は、高校入学直後から生徒同士や、世代の異なる大人とのコミュニケーションを体験し、「話す・聞く・書く」という力を磨いています。二年次には、東京方面へ三泊四日の研修旅行に出かけます。ここでも雲南会のご協力により、東京近郊で活躍している先輩に講演をしていただき、

生徒は、「仕事」や「生き方」について考える機会を得ます。

「しかけ」の中でも主なもの挙げましたが、これらの学びを通じ、生徒は一年次のまとめとして「ライフプラン」を、二年次のまとめとして「(進路志望の)志望理由書」を三年次には希望分野に関する小論文を書き上げます。こうして何度も将来について書き出し、自己を見つめる機会をもつことで、今、何をすべきかを確認し、行動に移していくのです。



島根大学との
高大連携授業風景

これらの「しかけ」が生徒の心に折々に刺激を与え、モチベーションを高めるきっかけになっていくようです。一年次から二年次、二年次から三年次にかけては、それぞれ文理選択や科目選択がありますが、目標実現のために必要なことは何かを確認する機会が節目節目にあるので、生徒は自分を見失うことなく学んでいけるのです。もちろん、担任を始めとする教職員による生徒への時機に応じた面接や、いつでも相談に乗れる体制が、生徒を支えていることは言うまでもありません。

企業・学校訪問
(研修旅行)



私たちが目指すコミュニケーション能力を持つということとは、(あいさつができる)・(チームワークがある)・(人と話ができる)・(人の話が聞ける)生徒であり、進路選択能力を持つとは、(自己を理解しようとしている)・(将来の目標をもって)・(実現に向けて行動できる)生徒と考えます。このような人づくりを目指す三刀屋高校を、引き続きご支援いただきますようお願いいたします。

研修旅行と雲南会東京支部

2年学年主任 清山智江

本年度二年生は三刀屋高校総合学科五期生となります。今年も二年生最大の行事である研修旅行を左記のような日程で実施しました。

◇十月十二日(月) 体育の日
第一日目

早朝にもかかわらず予定時刻前に集合完了。アスパルを出発し、出雲空港から羽田空港へ第一便で出発。東京到着後、バスの車中からガイドさんに国会議事堂、皇居周辺など翌日の班別自主研修に向けた案内をもらったのち東京タワーで昼食。劇団四季による『ライオンキング』を観劇。夕方にはホテルに到着。イブニングセミナー(講演会)を実施。講師は、三刀屋高校OB(五十四期卒業)の植田和明氏。

◇十月十三日(火)
第二日目

班別自主研修で、各班ごとに兼ねてより準備、計画をしてきた訪問先を、午前、午後一ヶ所ずつ訪問。事前アポをとっていたので、各訪問先では親切に案内していただいた。

◇十月十四日(水)
第三日目

志望コースごとに、企業・学校訪問。栗田工業株式会社、東京地裁、筑波宇宙センター、トラベル&ホテルカレッジ専門学校、東京家政大学、筑波大学、東京農工大学など。

◇十月十五日(木)
第四日目

東京ディズニーランドで過ごした後、羽田空港から出雲空港行き最終便で帰郷。

毎年実施されます研修旅行では、雲南会東京支部をはじめとして、三刀屋高校の卒業生の方々に多大なるご協力をお願いしております。事前打ち合わせ会では雲南会東京支部長の梅澤昭夫様、雲南会前東京支部長の景山紀様、島根県人会の(株)栗田工業参与三東崇秀様にご尽力いただいたおかげで、研修旅行当日は安心して東京へ向かうことができました。また、ご講演いただきましたイブニングセミナー(講演会)講師の植田和明氏は、セミナー(講演会)の一ヶ月後にご結婚を控えて

おられ、公私共にご多忙の中
ご尽力いただきましたので、
ささやかながら、セミナー
(講演会)の冒頭ご紹介の折
に生徒とともにお祝いの拍手
をさせていただきます。三
刀屋高校卒業生の方々はは
じめ、訪問先企業をご紹介い
たきました雲南会東京支部の
方々など大変お世話になりま
した。

生徒感想(抜)

◇イブニングセミナー

「自分の体験など分かりや
すく、聞きやすかった」「部
活でも成果を出せるように頑
張りたい」「何事も集中して
取り組む姿勢が大切だとわかっ
た。何か集中してできること
を探そうと思った」「同じ学
校を卒業された方が話してく
ださるのはいいと思っただけ
」「三刀屋の卒業生はみんなふ
るさと誇りに思っておられ
ることがわかった」

◇研修旅行全般

「企業・学校訪問をさせて
いただき将来の夢が具体的に
なった」「大都会に行くこと
で都会の便利さがわかり、島
根の良さ・住みやすさもわか
った」「事前学習が役に立った
」「時間にとっても厳しく、普段
の生活を見直す機会になった」

「皆が規律のとれた行動がで
きた」「先生方のおかげで安
心して過ごすことができた」
○感想を見ましても、生徒た
ちの視野の広がりを感じるこ
とができました。生徒たちは
研修旅行を通して、友情を深
める、将来有益な情報収集及
び自己の生き方、進路につい
て考えるという目的を達成で
きてきたと思います。これら
の経験は彼らの将来に大きな
影響を与えていくと思います。
感謝、感動を体験し、人のつ
ながりの大切さを感じた研修
旅行になりました。

研修旅行を終え、四ヶ月経
ちますが文武両道、励んでお
ります。今後ともご支援の程、
よろしく願います。



我々三十期同窓生が企画し
たこの度の雲南会総会のコン
セプトは、「母校の今を知り、
昔に思いを馳せることができ
る雲南会。」母校を懐かしむ
なら、やはり今の母校を知ら
なければ！と、総会を母校で
ある三刀屋高校で行いました。
先生方の協力を得て校舎見学
も行いました。懇親会場は、
近年、旧木次町での開催が続
いていたことから、高校の校
舎を臨むことができる真新し
い三刀屋農村改善センターを
お借りし実施しました。参加
していただいた皆様からは、
何度も何度も感謝の言葉を言
っていただき、この会を企画し
てよかったですと思いました。
さらに、在校生の活躍を見

たいという願いから吹奏楽部
の皆さんの参加をお願いし、
迫力あるサウンドと可愛らし
いパフォーマンスを披露して
いただきました。景山副会長
の懐かしい名指揮者の姿も拝
見でき、とてもお得な演奏会
になりました。
後輩の奏でる音色に浸る秋
何故か憂いの心かすめる
学生であった時代は違えど
も、参加された皆様それぞれ
に思いを巡らせながら、お聴
きになったことと思います。
私自身、吹奏楽部の皆さんの
演奏を聴きながら当時のこと
が脳裏に蘇り、胸にこみ上げ
てくるものがありました。
懇親会は約百四十名の皆さ
んに参加をいただき、大変盛
り上がりしました。ただ、懇親
会をお世話させていただいた
我々幹事学年が四十一名と、
全出席者の三分の一を占めて
しまったものですから同窓会
気分を乗りで、失礼も多々あ
ったことと思います。紙面を借

りてお詫び申し上げます。
私はこの度、雲南会を企画
運営させていただく機会を得
改めて、ふるさとの本当の良
さを感じることができました。
それは、懐かしい母校の存在
であり、後輩の頑張りであり、
先輩方や同窓生の絆でありま
す。
最後になりましたが、総会
開催に当たり、ご尽力いた
きましたすべての皆様、当日、
ご出席いただきました皆様に
心から感謝を申し上げますと
ともに、三刀屋高等学校の生
徒の皆さんのご活躍と、雲南
会の益々のご発展、会員の皆
様のご健勝をお祈り申し上げ
ます。

【追記】

平成二十二年一月、私
ち三十期を担任していた
だいた小玉裕先生がご逝
去なさいました。卒業し
てからも毎回同窓会で、
励ましの言葉をかけてい
ただいていました。優し
く生徒思いの小玉先生に
心から感謝申し上げますと
ともにご冥福をお祈りい
たします。

雲南会総会 報告
懇親会
雲南会総会実行委員会
三十期代表
佐藤 文宣

同窓会だより

卒業四十周年記念同窓会

第二十一期卒

影山喜文

「我が三高ここにありと・・・誇るべし」校歌を思い出しながら、卒業四十回目の同窓会を開催しました。

還暦を目前に再会したなつかしい面々は、社会の荒波を懸命に乗り越えてきた安堵感あふれる柔和で精悍な顔立ちが印象的でした。

昭和四十四年卒業当時は就職と進学の割合は半々ぐらいで、それぞれ選んだ道を懸命に歩いてきました。その原動力はこの雲南の地で育まれた誠実さと粘り強さ、そしてやさしさにあると思っています。地域が人を育て人が地域を育てます。

思えば高校三年間は誰にも等しく与えられた時間ですが、なつかしく思い出すというところは当時を一所懸命に生きた証ではないでしょうか。同窓会はあっとい間に当時へタイムスリップし、そしてたくさん元気をもたらすことが出来ました。

最近の三高は少しばかり元

気が無いように見受けられますが、母校の元気がそが卒業生にとって何よりの誇りだと信じています。

フレイフレイ 三高!

卒業三十周年記念同窓会

第三十一期卒

西川徹

私たち第三十一期卒業生は昨年卒業三十周年を迎えました。三十年前に植えた思い出の甲子園初出場記念植樹は総合学科棟建設時になくなったと聞き、寂しく感じますが、新生三刀屋高校の礎になったものと理解しています。

同窓会は八月十五日に百七名が参加して新装された三刀屋メインセンターで開催しました。当日は恩師の恩田謙二先生と吾郷常男先生に出席を頂きました。卒業二十周年時と比べ今回は準備がスムーズで、二回の会合で当日を迎えました。先輩方比べれば地味な会かもしれませんが、高校時代の思い出話を肴に夜遅くまで盛り上がり、若返った気分を満喫しました。これに合わせて百七十九名の協力により特別会費が集まり、雲南会総会で、福岡國夫会長様にお渡しすることができました。

自分たちの子供が高校で学ぶ年齢になり、今も三刀屋高校に足を運んでいるものも多く、母校への愛着と関心は非常に高いと思います。今後の三刀屋高校の活躍と雲南会の益々のご発展をお祈りしています。

卒業二十周年記念同窓会

第四十一期卒

板倉孝夫

私たち四十一期卒業生は、昨年八月十五日、三刀屋町「アスパル」において卒業二十周年記念同窓会を開催しました。

五月から地元に住む同窓生を中心に八回の打合せを行い準備を進めてきました。一人でも多くの同窓生に参加してもらうためにクラス、地区の垣根を越えて呼びかけを行った結果、当日は、三年生時の恩師である中村先生、竹原先生、飯塚先生にご出席いただき総勢百二名で楽しい一時を過ごすことができました。

進路指導室だより

進路指導部長

眞玉保浩



しく観ることができました。楽しい時間はあっといいう間に過ぎ、一次会から四次会まで話が尽きることなく続きました。参加した同窓生から、参加してよかったという声、次回の開催を期待する声をたくさんいただき、準備に関わってきたメンバー一同安堵と喜びの気持ちでいっぱいでした。次回も今回同様たくさんの方に参加いただける同窓会を開催していきたいと思っています。末筆ではありますが、母校三刀屋高校の益々のご発展をお祈りいたします。

総合学科に改編されて六期目の一年生を迎えて、二・三年生は二巡目の総合学科生として日々教育活動に取り組んでいます。今年度も一年次から産業社会と人間、総合的な学習の時間などでキャリア教育を進めています。職業人講演会や職業体験(三日間)では多くの近隣地域の同窓生の方に、また二年次の東京研修旅行におきましては東京在住の同窓生の方に、講演会や企業研修として学校見学等のために時間と場所の提供していただきました。ありがとうございました。

昨年三月には三期生が卒業し、それぞれの進路に進んでいきました。大学の合格者数が増え、平成に入ってから平成十二年度に次いで多い五名の生徒が現役で国公立大学に合格、公務員試験では難関である島根県職員採用試験に二名が合格しました。民間就職についても厳しい状況の中、希望者全員の内定を頂きました。今後も生徒と共に三刀屋高校の伝統を受け継いでさらに進化させて行く所存です。進路状況は後述の資料1、2をご覧ください。

四月以降も在校生は充実した高校生活を送ってくれています。就職については希望者全員が昨年未までのところで内定を頂くことができました。本校の生徒なら将来社会の有益な形成者として成長していくであろうと、企業の方が期待して下さっているおかげであると思っております。学校と企業との信頼関係を維持・発展させるべく進路指導を充実させていきたいと考えておりますので、お気づきの点がありましたらぜひお知らせ下さい。

またこの一月には四期生一〇三名がセンター試験を受験し、自分の進路を切り開こうと、国公立および私立大学、短期大学、専門学校的一般入試に向けて必死に勉強に励んでいます。三月三日には卒業式を迎え、母校を巣立っていきます。県内に就職、進学する生徒もおりますが、多くの生徒は県外に進学していきます。一度は地元を離れていきますが、これから先も進学や将来の就職のことで、雲南会の諸先輩方のお世話になることがあろうかと思えます。そのときにはどうぞよろしくお願いいたします。

(資料1) 進学概況

①平成20年度合格者数 延べ数() 過年度卒業生の数：うち数

	国公立大学		私立大学		国公立短大		私立短大		看護学校		医療福祉専門		各種専門		補習科その他		民間就職		公務員		大学校		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
合格者	37	21	107	35	1	14	1	21	1	11	4	3	11	19	4	0	14	4	5	3	2	0	187	131
延べ数	(3)		(3)	(2)																			(6)	(2)
合計	58	(3)	142	(5)	15		22		12		7		30		4		18		8		2		318	(8)

②進学関係(主な合格校) () 数字は延べ数

- 国公立大 九州大(1)、広島大(1)、岡山(3)、山口大(1)、鳥取大(3)、香川大(2)、愛媛大(3)、島根大(15)、信州大(1)、静岡大(1)、佐賀大(1)、長崎大(1)、大分大(3)、和歌山大(1)、島根県立大(5)、会津大(1)、尾道大(1)、宮崎県立看護大学(1)、下関市立大(5)、県立広島大(1)、山口県立大(1)、岡山県立大(1)、広島市立大(2)、北九州市立大(1)、長崎県立大(2)
- 私立大 國學院大(2)、専修大(2)、中央大(2)、明治大(1)、早稲田大(1)、静岡文化芸術大(1)、同志社大(1)、立命館大(4)、龍谷大(1)、京都橋大(2)、大阪経済大(3)、近畿大(5)、桃山学院大(2)、関西学院大(2)、神戸女子大(2)、神戸芸術工科大(1)、川崎医療福祉大(11)、美作大(1)、広島修道大(9)、松山大(2)、広島修道大(11)、広島国際大(11)、広島工業大(10)、安田女子大(2)、比治山大(1)、徳島文理大(2)、松山大(8)、福岡大(2) など
- 国公立短大 島根県立大短大部 {看護(5)、総合文化(4)、食物栄養(4)}、新見公立短大 幼児教育(1)、大分県立芸術文化短大(1) など
- 私立短大 大阪国際短大(2)、鳥取短大(2)、川崎医療短大(4)、美作短大(3)、比治山短大(3)、安田女短大(1) など
- 看護専門 島根県立石見看護専門(1)、岡山医療センター看護専門(3)、倉敷中央看護専門(1)、米子医療センター附属看護学校(1)、順正高等看護専門(1)、津山中央看護専門(1) など
- 医療・福祉系専門学校 神戸医療福祉専門三田校(1)、島根リハビリテーション学院(1)、トリニティカレッジ出雲医療福祉専門(3)、島根県歯科技術専門(2)、島根総合福祉専門(1)、トリニティカレッジ 広島医療福祉専門(1)、広島高等歯科衛生士専門(1) など
- その他の専門学校 島根自動車工学専門(1)、松江調理製菓製パンカレッジ(4)、松江総合ビジネスカレッジ(3)、松江理容美容専門(1)、出雲コンピュータ専門(2)、神戸製菓専門(2)、広島県理容美容専門(2) など

(資料2) 就職概況

②就職内定状況(地域)

①求人件数

年度	県内	県外	合計
20	48	385	433
19	103	413	516
18	49	255	304
17	61	235	296
16	53	170	223
15	42	188	230
14	46	212	258
13	59	211	270

地域	H15	H16	H17	H18	H19	H20
県内	男	7	9	13	2	16
	女	10	10	11	6	7
中国	男	2	1	3	1	1
	女		1		1	
関西	男		1	1		
	女	1	3	1	1	
関東	男					1
	女					
その他	男				1	
	女					

④公務員合格状況(過去5年分) (延べ数)

採用種別	H16	H17	H18	H19	H20
国家Ⅲ種(旧) 郵政外務		1			
島根県職(一般事務)					1
島根県職(学校事務)		1			1
松江市職				1	
雲南市職					
雲南消防組合	1				
島根県警		1	1		
自衛隊(曹候補)	2		1	3	5
自衛隊(二等陸空)			2	3	5
防衛大学校(理工)					1
合計	3	3	4	7	13

③平成20年度内定企業

(株) 共済不動産
株式会社島根富士通
株式会社出雲村田製作
株式会社丸八ボンブ製作所
株式会社 JUK I 松江
島根イーグル株式会社
株式会社ネスター
国際警備保障株式会社
株式会社サンキ
横田アパレル株式会社
社会福祉法人きすき福祉会
山崎製パン株式会社
(順不同)

演劇部

『30年ぶりの連鎖』

演劇部顧問

亀尾 佳 宏

「演劇の魅力は何ですか？」と尋ねられ、答えに窮することがある。もちろん魅力がないからではない。ありすぎてまらぬ答えの中でも、この一年で特に強く意識させられたことがある。「出会いが芝居を創り、その出会いがまた新たな芝居を創る」という、いわば「創造と出会いの連鎖」とも言うべきものだ。

二〇〇八年の全国大会で優秀賞を受賞し、その年の中国大会でも優秀賞を受賞した三刀屋高校演劇部は、二〇〇九年三月中旬、島根県民会館で特別公演をさせていただくことになった。高校の演劇部が単独で、県民会館のバックアップを全面的に受けて公演をするのは異例中の異例。その公演の客席があふれかえりその異例。開場の一時間も前に県民会館の一階に長蛇の列ができていたのは、にわかには

信じられない光景だった。

そしてその一週間後、三刀屋高校演劇部は「みなそこへいけ」という平家物語を題材とした作品をひっさげて、東京の劇団四季が運営する『自由劇場』へ、島根県勢としては初となる春季全国高等学校演劇フェスティバルへ出場するために出発した。続く公演と長い移動時間による疲労やインフルエンザにより万全の調子ではなかったものの、上演は生徒たちの底力により最高のものとなった。日本屈指の劇団のスタッフさんと一緒にお芝居を創らせていただけ

たことは生徒にとっても一生の思い出となったのではないだろうか。また、この公演をご覧になった株式会社「ハゴロモ」の会長さんからは「原典『平家物語』DVD」への出演の依頼をいただいた。これは「八〇〇年語り伝えられてきた日本の美しい日本語と魂を現代に残したい」というコンセプトのもと、中村吉衛門・野村萬歳・宮崎美子・平野啓子・近藤正臣・風間杜夫さんなど、各界の表現者の方々出演で作成しておられる全13巻の作品であるが、その中にアマチュアとして唯一三刀屋

高校演劇部を出演させたいというものだった。錚錚たるメンバーの中に名を連ねることにためらいはあったが、どうせなら高校生にしかできない作品にしてやろうと、思い切ってお引き受けし、七月中旬三刀屋高校の校舎内で撮影をした。この作品は先ごろ完成し、現在発売中である。

二〇〇九年秋には「オニんぎょ」という作品をコンクールで上演し六年連続して中国大会に出場させていただいた。そこで最優秀賞を受賞した三刀屋高校演劇部は二年ぶり四度目となる夏の全国大会に出場することになった。また、二〇一〇年一月下旬には木次町チェリヴァホールさんの全面的なバックアップにより「キラキラ雲南演劇フェスティバル」の開催が実現した。県内からは中国大会に出場した松江商業高校と三刀屋高校が出演し、県外からは鳥取県米子高校と岡山県操山高校をお招きしての演劇祭。当日は地域の方、保護者さん、卒業生の方をはじめ県内外からたくさんのお客様に会場にいらした

だき、大盛況のうちに幕を閉じることができた。

演劇という一つの表現を通して、これまで知り合うことになかったたくさんの方々とながる。演劇とは「する」側だけでは成立しない。「みる」人、そして「支える」人がつながって、初めて芝居ができるのだと強く感じた。この一年三刀屋高校の演劇をご覧になった皆様、本当にありがとうございます。今後このような活動を通して地元や学校のPRや活性化の一助になればと思っています。日ごろ支えてくださっている三刀屋高校をご卒業された皆様への感謝の気持ちを忘れず、今年もまた新たな活動を模索してまいります。

【今後の予定】
・2010年3月14日(日) 15日(月) 16日(火)
岡山県倉敷市 芸文館
「全国高等学校春季演劇フェスティバル」

＊夏の全国大会に出場する三刀屋高校は出演しませんが高校演劇の春の全国大会です。北海道から九州にいたる各ブロックの代表校10校が出演します。岡山方面へお住まいの方は是非足をお運びください。入場は無料です。
・2010年3月20日(土)
出雲地区高等学校合同公演

JR出雲市駅南口出てすぐ
ビックハート
大社・出雲高校

「演劇部物語」伊藤靖之 作
三刀屋高校
「七人の部長」越智 優 作
(愛媛県川之江高校上演台本)

＊出雲地区三校による合同のイベントです。今回は既成の台本に挑戦します。
入場料は一般500円・高校生300円・中学生以下無料です。
・2010年8月初旬

全国高等学校演劇発表大会
宮崎県宮崎市 メディキット
県民文化センター
＊4度目の夏の全国大会。上位四校に入賞し国立劇場を目指します。入場は無料。

「原典『平家物語』DVD」
発売中
詳しくはHP <http://www.heikemonogatari.jp> をご覧くださ。

『13巻きりかた』

早川 あかり
中学生のとき高校演劇の存在を知った私は、「高校演劇がしたい」という想いから地元柿木町から四時間離れた三

刀屋高校へ入学しました。慣れない土地での生活に、当初は「なんでこんなところへきてしまったんだろう・・・。」と後悔ばかりしていました。しかしやりたかった演劇と触れ合える時間はそんなことは忘れ、部活のできる放課後をいつも待ち遠しく思っていました。

一年生の夏に「暮れないマーチ」という作品で群馬での全国大会と東京の国立劇場で上演させていただき、翌年の三月には春の全国大会である春季高等学校演劇フェスティバルで「みなそこへいけ」を上演させていただきました。研修旅行で観劇した「ライオンキング」の劇場のすぐ隣にある、劇団四季さんの運営される「自由劇場」では、普段技術的になかなかできなかった演出がプロのスタッフさんの協力を得て実現し、思い通りのお芝居をすることができました。三年生にとって最後の舞台。舞台の始まる前にみんな手を取り合ったり抱き合ったりするのもこれで最後かと思うととても寂しく、幕が上がったときは初舞台のときのように体が震えました。開演のベルが鳴り、幕が上が

る。この瞬間が好き。お客様の期待が舞台上でも感じられる。物語が進むにつれて客席と舞台が一つになる。そして終演。鳴り止まない拍手や冷めない熱を感じる。ときいつも思う。もっともっと物語が続けばいいのに。最後の舞台。反省点はたくさんあったが、とても楽しかった。高校生活最後の舞台として、満足のいくものだった。そして思う。「三刀屋高校へきてよかった」と。

三年間演劇部を応援していただきありがとうございました。これから卒業生の一人として私自身も三刀屋高校を応援していきたいと思っています。

部活動トピックス

書道部



七月三十一日から八月一日に、三重県津市で開催された全国高等学校総合文化祭に出品させていただきました。

出品したのは大田莉穂の木簡の臨書です。この作品は二×八判の大きさに、「楼蘭晋簡」の「以驚鈍衆備員数於事目」の文字をおさめたものです。本人は「古い時代の字に興味があったのと、筆を意識して吊ったり大きく開いたりして書いてみたい」とこの木簡を選びました。最初は慣れない筆に苦労したこともありましたが、完成した時の達成感は一とおどかったです。

書道部は、三刀屋高校卒業生でもある長羅典子先生の指導のもと活動しており、今回の出品も長羅先生のご指導の賜物と感謝しております。

この全国総合文化祭出場に際しまして、雲南会様より生徒に対し、激励金をいただきありがとうございます。生徒に代わり、この場をお借りしてお礼申し上げます。(顧問 廣幡 聡子)

美術部

今年目標は「活動を通して地域の方と交流を深める」というものです。このことで我々の活動が雲南のみならず、に少しでも喜んで貰えれば、と思っています。

具体的には、ここ2年間、さくら祭りにおいてアトイペントのお手伝いをしていきます。画家・ミヤザキケンスケさん(NHK熱中時間の背景画担当の若手画家)と、ポッパンな作品を作り、道行く人に楽しんでもらうことができます。(ミヤザキさんとは十二月に入間小学校でもワークショップを行い、「巨大なミニチュメント」を作りました。)またジャズフェスティバルの看板画制作もさせて頂きました。他には菓子組合と行政がタイアップして進めている「うん

なんスィーツの杜」プロジェクトでのPRポスター・ロゴタイプの作成、雲南市が栽培を進めている太古からの幻の植物・ムラサキ草を用いた草木染めなど、生徒は貴重な体験をさせて頂いています。このようなことに取り組むことで、郷土への理解も深められているのではと思いますし、何より色んな機会を与えて下さっている地域の方々には大変感謝しています。今後も目標を実行しつつ、単に教室内での制作活動に留まらない美術部でありたいと思います。(顧問 森山 恭)

吹奏楽部

今年も吹奏楽部は五十八名の部員で音楽の楽しさを多くの方々に届けようと元気に活動しました。

四月は御衣黄カップソフトバレー開会式・入学式・中庭でのランチタイムコンサート、六月は出雲地区吹奏楽祭に出場、七月はバンドフェスティバルに出場、八月は吹奏楽コンクール出場(惜しくも銀賞受賞)・三高祭、九月はプロの金管アンサンブルと共演、

十月は雲南会総会・みとやっこ祭りに出演、十一月は仁多商工祭りに出演、十二月は定期演奏会（インフルエンザで延期になり大変でした）・アンサンブルコンテスト出場（金管が金賞受賞）・年末には県高校選抜吹奏楽団台北公演に八名が参加、一月は木次保育所・三刀屋小学校へ訪問演奏、三月には卒業式・春のパンドフェスティバル・掛合の里へ訪問演奏の予定です。

年間二十回以上のステージを通じて、多くの方々に演奏を聴いていただけることは何にも代えがたい喜びであり、自分たちの活動が地域の方々に温かく支えられていると実感できる瞬間でもあります。これからもこうした身近な所で温かい拍手が頂けるような活動も大事にしていきたいと思えます。

（顧問 太田 知伸）

ソフトテニス部

ソフトテニス部の現在と

未来（パート3）

雲南会の皆様におかれましては、ますますご清祥でご活躍のこととお喜び申し上げます。また中国大会・全国大会

の出場に際して、格別のご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

今回はチームを主将としてまとめてくれた藤原沙季さんが高体連誌に寄せた文を紹介いたします。

二〇〇九近畿まほろば総体に出場した、あの夏の日のことを思い出すと今でも苦しかったこと、嬉しかったことが鮮明に思い出される。

三刀屋高等学校女子ソフトテニス部は団体としては四十二年ぶりの出場だった。私自身、必ずインターハイに出場すると決めて入学した、三刀屋高等学校。しかし、二年とその目標を達成することはできなかった。その後、私がキャプテンとなり新チームでの戦いが始まった。新チームでの戦いも決して楽なものではなかった。走りこんで体のいたる所が痛くなること、

苦しい練習も多くあった。また、二十四人という部員数のなかでのレギュラー争い、部員同士の意見の対立、また自身キャプテンとして結果を出せなかったことなど精神的に苦しかったこともあった。しかし、それを乗り越えることができたのは部員のおかげ

である。ライバルであっても、同じ目標を持ち集まった仲間である。切磋琢磨しながらお互いを高め合い、支えあうことのできる仲間だったからこそ目標を達成することができたと感じている。

三刀屋高等学校女子ソフトテニス部には部訓がある。それは「感謝・感動」という言葉である。私たちを支え、応援してくださる全ての方々、また、道具やソフトテニスをすることができ環境など全てに感謝をする。そして、私たちの試合を見てくださる全ての方々に感動を与え、心を動かすことのできるような試合をするというものである。最後の県総体ではまさに「感謝・感動」の三刀屋らしいソフトテニスであった。

決勝に行くまでもたくさん苦しい試合があった。しかし、部員全員が強い気持ちを持ち、仲間を信じていた。インターハイ出場が決まった瞬間、私は嬉しいという気持ちをはるかに超えるような気持ちになった。周りを見ると普段は物静かな部員も、滅多に泣かない部員も大きな声をあげて泣いていた。三刀屋の新たな歴史が作られた瞬間であっ

た。

インターハイという全国の舞台では、勝利で終わることではできなかった。しかし、このメンバーで最高の舞台上でたことは私にとって最高の思い出である。

後輩には三刀屋の新たな歴史を刻んでくれることを期待している。

最後に、三刀屋高等学校女子ソフトテニス部を支えてくださった全ての方々、本当にありがとうございます。一生誇れる仲間である部員のみならず、ありがとうございます。

ソフトテニス部主将

藤原 沙季

こんな立派な選手たちに巡り会えた事に感謝しています。

（顧問 真玉 保浩）

女子ソフトボール部

女子ソフトボール部です。

平素は部活動に対しまして格別のご支援を賜り、誠にありがとうございます。十月に本校を会場として行われた新人戦に優勝し、三月に三重県熊野市で行われる全国選抜大会に出場することになりました。

ここ数年はなかなか県内でも

勝つことができませんに悔しい思いをしてきましたが、新人戦は全試合を無失点で、なおかつコールド勝ちという他校を圧倒する勝ち方ができました。今のチームは人数が九人ときりぎりで、練習内容も限られる上、一人でも怪我や病気で欠けると試合ができないという状況ですが、全員が自覚をしっかりと持って練習に取り組んだ成果だと思います。

しかし、島根県内のレベルと全国レベルとの差はまだまだまだ大きく、翌月の中国新人大会では広島県代表のチームに無安打無得点でのコールド負けを喫しました。相手のエースピッチャーに文字通り手も足も出ず、何もすることができませんでした。現在は冬期トレーニングの最中ですが、チームの目標である全国大会での一勝に向け、全国レベルの投手の速球に対応できるバッティングに取り組んでいます。来年のこの会報では全国大会での勝利を報告できるよう頑張りますので応援よろしくお願ひいたします。

（顧問 寺岡 智弘）

男子ソフトボール部

「さらなる飛躍を目指して」

現在県内に二校しかない男子ソフトボール部ですが、インターハイ、選抜大会ともに連続出場を決め、まずは歴史をつなぐことができホッとしております。今では全国の常連となつてはいますが、課題はその先にあります。

五月に山口県で開催された中国大会では、準決勝をサヨナラ勝ちで収め、決勝戦に進みました。準決勝の勢いで序盤にリードしていましたが、終盤に逆転負けを喫し、昭和五七年以来島根県勢の優勝にもう一步およびませんでした。また八月の全国総体では初戦を突破した後、ベスト8入りかけた試合で、先制し優位に進めながらワンチャンスで一気にひっくりかえされてしまいました。いずれも停業まであと一步、というところで涙をのむ結果となりました。

もちろん各地区の予選を勝ち抜いてきた者同士が集うのですから、中国、全国大会で一つ勝つだけでも決して容易なことではありません。今年度中国大会準優勝、全国総体ベスト16という輝かしい成績を

残せたのも引退した三年生の高い能力と弛まぬ努力の賜物でありました。これまで先輩方が築いてこられた功績を汚すことなく、継続していくこと、そしてさらに発展させていくことがあとに続く者に課せられた使命であります。

新チームで優勝を期して臨んだ秋の中国大会では新型インフルエンザの影響により涙を飲むことになりました。しかしこの無念さと、優位に進めながらも一つ押し切れなかった何かを突き詰めて、全国選抜大会ではベスト16の壁を乗り越えたいと思います。そして卒業生、地域の皆さんに応援していただけるチームを目指して頑張っていきたいと思っておりますのでご声援よろしくお願ひします。

(顧問 手銭 隆志)

柔道部

「三高生の美しさ」

八月に奈良・斑鳩の地で開催された「近畿まほろば総体」に、女子生徒二名と参加してきました。

会場には、私の出身校の生徒もいまして、懐かしく眺めていたのですが、ふとした違

和感が生じてきました。私の出身校の生徒達は通路の手すりの上や、缶用ゴミ箱の上などに陣取り観戦していたのです。恐らく通路通行の邪魔にならずに、かつ楽に観戦できる場所をと効率を求めた結果だったのでしょう。

一方三刀屋の二人は、通路の縁で人の邪魔にならないように何時間も立ち続けていました。空席ができて即座に場所取りする様ないやらしさも見せず、周囲を気遣いながら他の島根県選手を応援していました。隣で黙って見ていましたが、その姿は実に清々しくありました。

思い返すと、他の柔道部員も、大会準備では率先して働き、至らない顧問のフォローをしてくれる、素晴らしい生徒たちばかりでした。

三刀屋の柔道部には、目から鼻に抜けるような生徒はいないかもしれませんが、周囲を優しく気遣いながら控えめに思直に生きていく、清々しい美しさをもつ生徒ばかりでした。

- 私は、この美しさを三刀屋の生徒が持っていることが嬉しくもあり、羨ましくもありました。(顧問 石飛 隆)
- 須山 翔太 第7位
- 小田川雄大 第8位
- 三刀屋1-12 島根中央
- * 陸上競技部
- * 出雲陸上競技大会
- やり投げ
- 須山 翔太 第7位
- 小田川雄大 第8位
- * 島根陸上競技選手権
- やり投げ
- 須山 翔太 第6位
- 円盤投げ
- 須山 翔太 第8位
- * 県総体
- 800M
- 今岡 大介 第7位

部活動報告

運動部

○野球部

- * 県高校春季野球大会
- 三刀屋0-10 大社
- * 出雲地区高校野球大会
- 1回戦
- 三刀屋8-3 出雲工業
- 準決勝
- 三刀屋3-5 出雲商業
- * 全国高等学校野球選手権大会
- 2回戦
- 三刀屋1-0 出雲北陵
- 3回戦
- 三刀屋0-5 益田東
- * 県高校秋季大会
- 三刀屋1-12 島根中央

○男子ソフトテニス部

- * 県総体東部地区予選
- 団体戦 1回戦
- 三刀屋0-3 出雲工業
- * 県総体
- 団体戦 1回戦
- 三刀屋0-3 江津工業
- * 島根県高等学校ソフトテニス選手権大会
- 個人戦
- 内田智・落合組
- ベスト32

○女子ソフトテニス部

- * 山陰高校ソフトテニス選手権大会
- 個人戦
- 今岡 大介 第7位
- * 中国大会出場
- 須山 翔太 第5位
- 今岡 大介 決勝進出9位
- やり投げ
- 800M
- 今岡 大介 第7位
- * 島根県高等学校新人陸上大会
- 800M準決勝
- 今岡 大介 4位敗退
- やり投げ
- 小田川雄大 4位
- 児玉 大貴 6位

中村・長尾組、児玉・藤原由美組 ベスト8
 吉野・原組 ベスト16
 藤原沙季・戸田組、藤原遥・渡部組、新田・周藤組 ベスト32

* 県総体東部地区予選

団体戦 優勝
 個人戦 12ペア出場し、全ペア県大会への出場権を獲得

* 県総体

個人戦 中村・長尾組 優勝
 ※インターハイ・中国大会出場 児玉・藤原由美組 5位
 ※インターハイ・中国大会出場 吉野・原組、藤原遥・渡部組、新田・周藤組 ベスト16

※中国大会出場

団体戦 2回戦
 三刀屋3-0安来
 準々決勝 三刀屋2-0石見智翠館
 準決勝 三刀屋2-1江津
 決勝 三刀屋2-1松江商業

(1位 中国大会、42年ぶりにインターハイ出場)
 * 中国高等学校ソフトテニス選手権大会

個人戦 1回戦
 吉野・原3-4
 鳥取・米子松蔭 新田・周藤4-3
 鳥取・八頭 藤原遥・渡部4-2
 岡山・倉敷翠松 児玉・藤原由美4-0
 岡山・岡山汗馬芳泉 2回戦
 中村・長尾4-0 広島・新庄
 新田・周藤1-4 広島・広島翔洋
 児玉・藤原由美1-4 鳥取・米子松蔭
 藤原遥・渡部0-4 広島・鈴峯女子
 3回戦 中村・長尾0-4 広島・鈴峯女子
 団体戦 1回戦
 三刀屋3-0広島・呉宮原 (広島3位)
 2回戦 三刀屋3-1鳥取・米子西 (鳥取2位)
 準々決勝 三刀屋1-2 広島・鈴峯女子
 (広島1位・全国選抜3位) ベスト8

* 国体予選中国ブロック大会

島根県代表選手8名の中に、藤原由美、中村真梨子、長尾由伊、戸田萌美、児玉あゆみが選出された。
 * 全国高等学校ソフトテニス選手権

個人戦 1回戦 児玉・藤原由美組2-4 大島・竹田組
 2回戦 中村・長尾組4-3 大海・北林組 (北海道)
 3回戦 中村・長尾組4-3 七尾・杉山組 (茨城県)
 4回戦 中村・長尾組3-4 児玉・田中組 (大分県)
 ベスト64

団体戦 1回戦 三刀屋高校2-1 白鷗学足利高等学校 (栃木県)
 2回戦 三刀屋高校1-2 三重高等学校 (三重県)
 (インターハイ3位)
 * 島根県高等学校ソフトテニス選手権大会

入選手権大会

個人戦 児玉・藤原由美組 優勝
 藤原遥・戸田組 3位
 新田・多賀組 ベスト16
 ※以上3組が県高校新人戦のシード権を獲得

* 県新人戦

個人戦 藤原遥・戸田組 優勝
 児玉・藤原由美組 2位
 新田・多賀組 ベスト32
 ※以上3組が県高校インドア選手権の出場権獲得
 団体戦 2回戦 三刀屋3-0隠岐
 3回戦 三刀屋2-0大社
 準決勝 三刀屋2-1出雲商業
 決勝 三刀屋0-2松江商業 第2位

※全国選抜島根県最終予選の出場権獲得
 * 全国選抜県最終予選 団体戦
 三刀屋2-1松江江西
 三刀屋2-1松江商業
 三刀屋3-0出雲商業 3勝0敗

児玉・藤原由美組 ベスト8
 新田・安部組 ベスト16
 友塚・戸田組 1回戦敗退
 * 西日本高等学校選抜ソフトテニス室内選手権大会 予選リーグ
 三刀屋2-1羽衣学園 (大阪)
 三刀屋1-2今治北 (愛媛)
 2位トナメント
 三刀屋0-3諫早商業 (長崎)
 * 全国高等学校ソフトテニス選抜大会中国予選
 三刀屋0-3広島翔洋
 三刀屋0-3米子松蔭
 三刀屋0-3就実
 三刀屋2-1岩国商業 第4位

○男子バスケットボール部

* 中国高校選手権県予選 2回戦 三刀屋101-70松江農林
 3回戦 三刀屋65-73松江江西 ベスト8
 * 県総体 2回戦 三刀屋126-36隠岐水産 3回戦

* 島根県高等学校インドア選手権 ※中国選抜大会へ出場

三刀屋63―61江津工業
準々決勝
三刀屋41―89出雲北陵

ベスト8

* 県選手権大会

1回戦

三刀屋101―52大田

2回戦

三刀屋79―63松江南

準々決勝

三刀屋56―90益田翔陽

ベスト8

* 出雲地区新人戦

2回戦

三刀屋155―31出雲西

準決勝

三刀屋82―57出雲工業

決勝

三刀屋71―75出雲北陵

準優勝

※県新人戦ベスト8シード獲得

* 県新人戦

1回戦

三刀屋85―68明誠

2回戦

三刀屋85―55大杜

準々決勝

三刀屋90―51邇摩

準決勝

三刀屋70―83松江西

3位決定戦

三刀屋80―88出雲北陵

ベスト4

ベスト5賞に上代貞央

○ 女子バスケットボール部

* 中国高校選手権県予選

1回戦

三刀屋70―74松江西

* 県総体

1回戦

三刀屋33―45安来

* 県選手権大会

1回戦

三刀屋82―60大田

2回戦

三刀屋44―85松江東

* 出雲地区新人戦

1回戦

三刀屋65―82出雲商業

* 県新人戦

三刀屋39―63益田翔陽

○ 男子ソフトボール部

* 中国高校選手権県予選

三刀屋7―0安来

※中国大会出場権獲得

* 中国高校選手権

1回戦

三刀屋8―1倉吉東

準決勝

三刀屋3―2新見

決勝

三刀屋3―4御調

準優勝

* 県総体

決勝 三刀屋5―4安来

* 島根県・山口県全国大会出場決定戦

三刀屋 3―2 徳山
(島根代表) (山口代表)

※9年連続インターハイ出場

* 奈良インターハイ

2回戦

三刀屋9―2福岡
(岩手代表)

3回戦

三刀屋3―6身延
(山梨代表)

ベスト16

* 県選手権

三刀屋7×6安来

(タイプレック8回)

* 県新人戦

三刀屋9―2安来

優勝

※中国大会・全国選抜大会出場

* 中国新人大会

2回戦

三刀屋0―3尾道商業
(広島代表)

2回戦

三刀屋0―10津山商業
(岡山県)

1回戦

* 中国大会出場

* 中国高校選手権

2回戦

三刀屋3―0浜田商業

準決勝

三刀屋7―5松江商業

決勝

三刀屋0―1出雲商業

※中国大会出場

* 中国大会出場

1回戦

三刀屋0―10津山商業

* 県総体

2回戦

三刀屋1―6大東

* 県選手権

1回戦

三刀屋12―0江津

2回戦

三刀屋23―0安来

準決勝

三刀屋8―1大東

決勝

三刀屋6―2出雲商業

優勝

* 県新人戦

2回戦

三刀屋11―0江津

準決勝

三刀屋7―0浜田商業

決勝

三刀屋8―0出雲商業

優勝

※中国大会・全国選抜大会出場

* 中国高校新人大会

1回戦

三刀屋0―8鈴峯女子
(広島県)

2回戦

三刀屋1―2平田

予選グループ

三刀屋1―2松江北

* 県総体

2回戦

三刀屋2―0益田

予選グループ

三刀屋2―0出雲農林

三刀屋0―2情報科学

* 松江地区バレーボール大会

予選リーグ戦

三刀屋0―2情報科学

三刀屋0―2倉敷商業

三刀屋0―2松江高専

順位決定リーグ戦

三刀屋2―0松江北

三刀屋0―2松江南

三刀屋1―2松江工業

* 県新人戦

三刀屋0―2浜田

三刀屋0―2松江商業

* 県選手権

予選リーグ戦

三刀屋1―2 松江南

三刀屋0―2 情報科学

○ 女子バレーボール部

* 中国高校選手権予選

予選グループ

三刀屋2―0北陵

三刀屋2―0浜田

ベスト8決定戦

三刀屋1―2松江商業

* 県総体

1回戦

三刀屋2―0島根中央

2回戦

三刀屋0―2安来

* 県新人戦

予選グループ

三刀屋2―0益田

三刀屋2―0出雲農林

ベスト8 決定戦

三刀屋0-2 松江北

* 県選手権

リーグ戦

三刀屋2-0 島根中央

三刀屋2-0 飯南

ベスト8 決定戦

三刀屋0-2 松江東

○卓球部

* 中国高校選手権県予選

男子団体

2 回戦

三刀屋0-3 松江農林

女子団体

2 回戦

三刀屋0-3 松江農林

* 県総体

男子団体

1 回戦 三刀屋3-1 飯南

2 回戦 三刀屋0-3 明誠

女子団体

1 回戦 三刀屋2-3 大東

* 県高校新人戦

男子団体

予選一次リーグ

三刀屋0-3 松江農林

三刀屋0-3 松徳学院

女子団体

予選一次リーグ

三刀屋0-3 松江商業

三刀屋0-3 平田

○剣道部

* 中国高校剣道選手権県予選

男子団体

2 回戦

三刀屋0-3 益田東

女子団体

1 回戦

三刀屋1-2 大東

個人戦

男子

内田 研

ベスト16

女子

西村

* 中国大会出場権

男子個人

2 回戦

内田 研

3 回戦

内田 研

4 回戦

内田 研

ベスト32

女子個人

1 回戦

西村美

1 回戦

西村美

1 回戦

男子団体

1 回戦

三刀屋1-2 島根中央

女子団体

1 回戦

三刀屋3-0 浜田

2 回戦

三刀屋0-3 横田

個人戦

男子

内田 研

個人戦

女子

角森美咲

個人戦

男子

1 回戦

三刀屋1-1 松江工

2 回戦

三刀屋0-4 松江東

3 回戦

三刀屋0-4 松江東

4 回戦

三刀屋0-4 松江東

5 回戦

三刀屋0-4 松江東

6 回戦

三刀屋0-4 松江東

7 回戦

三刀屋0-4 松江東

8 回戦

三刀屋0-4 松江東

9 回戦

三刀屋0-4 松江東

10 回戦

三刀屋0-4 松江東

三刀屋0-4 松江東

三刀屋0-4 松江東

* 中国大会出場

男子 個人戦

66 kg級 野本

73 kg級 若林

81 kg級 吉岡

個人戦

女子

52 kg級 永瀬

70 kg級 三浦

個人戦

男子

1 回戦

三刀屋0-2 出雲

2 回戦

三刀屋0-5 平田

3 回戦

三刀屋4-1 松江農林

4 回戦

三刀屋3-2 津和野

5 回戦

三刀屋0-5 益田東

6 回戦

三刀屋0-5 益田東

7 回戦

三刀屋0-5 益田東

8 回戦

三刀屋0-5 益田東

9 回戦

三刀屋0-5 益田東

10 回戦

三刀屋0-5 益田東

11 回戦

三刀屋0-5 益田東

三刀屋0-5 益田東

三刀屋0-5 益田東

三刀屋3-0 松江南

女子団体 3位

女子 個人戦

70 kg級 三浦 渚

優勝※インターハイ出場

52 kg級 永瀬 舞

3位

全国高校総体

女子 個人戦

70 kg級 三浦 渚

2 回戦敗退

* 島根県高等学校新人柔道大会

女子団体戦 第3位

* 中国大会出場権

女子個人戦

70 kg級 三浦 渚

2 位

52 kg級 松村美穂

5 位

* 県選手権

女子団体戦

1 回戦

三刀屋2-1 浜田

準決勝

三刀屋0-3 出雲西

女子個人戦

70 kg級 三浦 渚

2 位

* サッカー部

* 島根県ユースリーグ200

9U-18 (県3部)

三刀屋0-8 出雲商業

三刀屋0-4 出雲北陵

三刀屋0-7 出雲西

三刀屋2-1 横田

*全国高校サッカー選手権大会
出雲地区予選

Aリンク

三万屋0-10出雲
三万屋0-8大社

予選リンク4位

第5代表決定戦

三万屋0-8出雲工業

*県高校新人大会

三万屋1-2江津工業

*島根県ユースリーグ2009U-17(県3部)

三万屋0-5出雲西
三万屋3-4出雲北陵
三万屋0-1横田
三万屋0-3平田
三万屋3-0出雲農林

女子回転

小林あかね

第3位

女子大回転

小林あかね

第2位

*全国大会出場権獲得

*国体県予選

男子大回転

丹後 雅登

第2位

女子大回転

小林あかね

第2位

*中国大会

男子回転

丹後 雅登

第14位/26人中

男子大回転

丹後 雅登

第19位/26人中

女子大回転

小林あかね

第11位/18人中

*県新人戦

男子回転

丹後 雅登

第2位

女子回転

小林あかね

第104位/178人中

*全国高校スキー大会

女子大回転

小林あかね

第2位

*全国高校スキー大会

女子大回転

小林あかね

第104位/178人中

*全国高校スキー大会

男子回転

丹後 雅登

第3位

男子大回転

丹後 雅登

第3位

文化系

○書道部

*高文連書道コンクール

藤原ひとみ 特選

日倉 真子 秀作

渡部さやか 秀作

若槻あかり 秀作

福馬 真実 秀作

*全国総合文化祭

大田 莉穂

*島根県高等学校書道展

大田 紗穂 奨励賞

○吹奏楽部

*全日本吹奏楽コンクール

島根県大会

高校Aの部 銀賞

*全日本アンサンブルコンテ

スト島根県大会

金管八重奏 金賞

フルート四重奏 銀賞

クラリネット五重奏 銀賞

○写真部

*高文連春季写真コンクール

舟木 巧 入選

星野 愛美 入選

*高文連写真部秋季写真コンクール

舟木 巧 2点特選

本江クリス 特選

笠江美久里 特選

星野 愛美 入選

*第37回島根県高校写真展

入選他10点

舟木 巧 奨励賞

本江クリス 入選

笠江美久里 入選

星野 愛美 入選

○演劇部

*出雲・石見地区大会

優秀賞

(県大会出場権獲得)

*島根県高等学校演劇発表会

最優秀賞

中国大会出場権獲得

(6年連続)

*中国地区高等学校演劇発表会

最優秀賞

文化科学大臣奨励賞

(11校中1位)

2010全国大会(宮崎)

中国地区代表として出場決定

(2年ぶり4度目)

○箏曲部

*島根県高等学校文化連盟

日本音楽部門コンクール

第4位/6校出場

○音楽関係大会

*島根県高等学校音楽コンクール

木管楽器部門

小池奈津美 金賞

落合真梨奈 銀賞

金管楽器部門

石原 葵 銀賞

声楽部門

小池 裕介 銀賞

最優秀賞 遠藤壮一郎

優良賞 白築 康一

尚、遠藤君の作品は県代表

指定読書の部

健康福祉部長賞

福間 霞美

白築 康一

支部会だより

東京支部総会に

参加して

副事務局長

渡部 一哉

東京支部総会に参加させて頂きましたので、その報告をさせていただきます。

総会は昨年の十一月七日、浅草寺近くの台東区民会館で開催されました。地元東京を中心に首都圏から三十数名の参加がありました。島根から西村雲南会会長、本校の杉谷校長、稲村事務局長、奥井講師、渡部が参加。梅澤支部長・西村会長・校長挨拶の後、総会議事、懇親会が賑やかに行われました。東京支部の方々から、本校在学中の思い出や卒業後の活躍等を聞かせて頂き、諸先輩の偉大さに圧倒された一日でした。楽しくお話をさせて頂き、時間も忘れ、気づいたときには翌日になっていました。

支部総会に参加して、「東京支部総会の開催をご存じない卒業生がたくさんいらっしゃるのではないか」と思いました。事務局がパイプ役となり

総会の案内がより多くの関東圏の方々に伝わるような手立てがないか、事務局で考えてみたいと思います。

最後になりましたが、梅澤会長を初め当日お世話になった東京支部の皆様のご健康とさらなるご活躍を祈念しまして本稿を閉じたいと思います。いろいろのご配慮頂き、ありがとうございます。

大阪支部総会だより

雲南会事務局

竹崎 朱美

平成二十一年七月四日、大阪弥生会館で行われた雲南会大阪支部総会に参加しました。私は本校第四十四期生であり卒業してから彼是二十年近くが経とうとしています

が、このような同窓会の活動に参加するのは初めての経験であり、緊張と好奇心の入り混じった気持ちで参加させて頂いていただきました。

総会はおよそ四十名の出席者の中、島根からは杉原副会長、杉谷校長、渡部副事務局長、竹崎が参加。錦織支部長、杉原副会長、杉谷校長から挨拶を頂き、



総会議事後、懇親会へと会は進みました。

私はこの会に参加するにあたり、現在大阪方面で活躍している同級生たちに声をかけました。すると育児や仕事で忙しいにも関わらず、二人の同級生が当日会場に駆けつけてくれました。二人とも三年間同じクラスで学校生活を共にした友人でありましたが、皆子供もでき、地元で開かれる同窓会にもなかなか参加できずここ数年来会うことがありませんでした。しかし久々会ってみると気分は高校生で、高校時代の思い出から最近の近況、他のクラスメイトの話まで色々な話題で盛り上がりました。高校時代という同じ時間を共に過ごしたことがなせる業である、「同級生」という存在のありがたさをつくづく感じた会でした。事務局となった今、今後はこの同窓会の意義を少しめながら、微力ながら雲南会のお役に立てていきたいらと思っております。

事務局だより

会員の皆様には、お元気で活躍のことと存じます。本年度、雲南会総会・懇親会は高校三十期の皆様方のご尽力により盛会裏に終了することができました。特に、総会は母校を会場に開催されましたので、思い出に浸られた方も多かったのではないでしょう。また、二十一期・三十期・四十一期の皆様方には特別会費をいただき感謝しております。

本年度も、各支部総会に参加させて頂き、皆様方の母校を思う多くの熱い気持ちにふれることができました。今後、多くの皆様方に支部総会に出席していただきたいと願っております。

総合学科になり、四年目を終えようとしています。今後も、母校および雲南会の発展のために、皆様方のご支援をお願いいたします。

1の一年間の同窓会の行事

平成21年

- 3月2日 雲南会入会式 (総合学科第3期)
- 3月17日 三刀屋支部総会
- 7月4日 大阪支部総会
- 7月25日 日登支部総会
- 8月22日 雲南会役員会
- 9月18日 木次支部総会
- 10月10日 雲南会総会

(三刀屋高校総合学科棟 高校30期担当 懇親会)

- 11月7日 東京支部総会 (メインセンター)
- 11月27日 西日登支部総会

平成22年

- 3月2日 雲南会入会式 (総合学科第4期)

【注意を】

三刀屋高校の教職員と名乗って、卒業生名簿の購入勧誘や卒業生の住所等を聞き出すとする電話がかかっています。雲南会からのお知らせは、必ず三刀屋高校発の郵便でのご案内します。ご注意ください。

平成20年度島根県立三刀屋高等学校雲南会 会計決算書

(平成20年 4月～平成21年 3月31日)

(単位：円)

【収入の部】

項 目	予 算 額	決 算 額	比較増減△	摘 要
入 会 金	3,294,000	3,290,000	△ 4,000	のべ 6,580人×500円
特 別 会 費	450,000	450,000	0	高20期、高30期、高40期
雑 収 入	1,000	1,872	872	預金利息
合 計	3,745,000	3,741,872	△ 3,128	

【支出の部】

(単位：円)

項 目	予 算 額			決 算 額	予算残額	摘 要
	当 初	流用・充当	現 額			
総 会 費	450,000		450,000	450,000	0	高29期主催
支 部 総 会 費	300,000		300,000	210,000	90,000	東京、大阪、日登、木次、松江、一宮、三刀屋
活 動 費	800,000		800,000	618,336	181,664	同窓会会報発送費等
印 刷 費	430,000	△ 24,679	405,321	172,116	233,205	同窓会会報印刷等
役 員 会 費	200,000	3,925	203,925	203,925	0	役員会会議費等
同窓会名簿管理費	100,000		100,000		100,000	同窓会名簿原簿管理費
異動職員餞別金等	30,000		30,000	13,000	17,000	餞別
慶 弔 見 舞 金	40,000	3,026	43,026	43,026	0	香典、弔電
体育後援会寄付金	300,000		300,000	300,000	0	体育後援会補助
通 信 費	30,000	6,540	36,540	36,540	0	切手、はがき代、その他送料
旅 費	770,000		770,000	613,313	156,687	総会、支部総会出席等
事 務 費	80,000		80,000	2,015	77,985	事務用品
雑 費	110,000	2,150	112,150	112,150	0	新聞広告費等
予 備 費	105,000	9,038	114,038	114,038	0	卒業記念品(証書入れケース194本)
合 計	3,745,000	0	3,745,000	2,888,459	856,541	

差引残高：3,741,872円－2,888,459円＝853,413円・・・特別会計へ
上記監査の結果内容の正確なる事を認めます。

平成21年 8月21日

監事 金山 寿 典
監事 齋 藤 達 郎

平成21年度島根県立三刀屋高等学校雲南会 会計予算書

(平成21年 4月 1日～平成22年 3月31日)

(単位：円)

【収入の部】

項 目	予 算 額	前年度予算額	比較増減△	摘 要
入 会 金	2,208,500	3,294,000	△ 1,085,500	1年5,000円×178人、2年4,500円×191人、3年3,000円×153人
前年度繰越金	853,413		853,413	
特 別 会 費	450,000	450,000	0	高21期、高31期、高41期
特 別 補 助 金	800,000	0	800,000	特別会計より
雑 収 入	1,000	1,000	0	利息
合 計	4,312,913	3,745,000	567,913	

【支出の部】

(単位：円)

項 目	予 算 額	前年度予算額	比較増減△	摘 要
総 会 費	450,000	450,000	0	高30期
支 部 総 会 費	240,000	300,000	△ 60,000	大阪、東京、木次、三刀屋ほか
活 動 費	750,000	800,000	△ 50,000	同窓会会報発送業務費等
印 刷 費	300,000	430,000	△ 130,000	同窓会会報印刷費、その他印刷
役 員 会 費	200,000	200,000	0	各種役員会等
同窓会名簿管理費	50,000	100,000	△ 50,000	同窓会名簿データ印刷等
卒 業 記 念 品	120,000	0	120,000	証書入れケース
異動職員餞別金等	30,000	30,000	0	餞別等
慶 弔 見 舞 金	40,000	40,000	0	香典、弔電
体育後援会寄付金	300,000	300,000	0	体育後援会補助
通 信 費	50,000	30,000	20,000	郵券代ほか
旅 費	700,000	770,000	△ 70,000	総会、支部総会、会議等出席
事 務 費	50,000	80,000	△ 30,000	事務費用品
雑 費	120,000	110,000	10,000	新聞広告等
特別会計繰出金	853,413		853,413	
予 備 費	59,500	105,000	△ 45,500	
合 計	4,312,913	3,745,000	567,913	